



令和 7 年度 栃木県こどもモニター

第 2 回アンケート結果

(保護者)

調査実施の概要

1. 栃木県こどもモニターってなに

栃木県は、こどもに関する施策を考えて実現するため、こどもや若者、保護者の意見やアイデアを継続的に集め、政策に取り入れることを目的として「栃木県こどもモニター」を募集します。

モニターのみなさんには、栃木県についてのアンケートから意見を収集し、これからの栃木県の施策やルール作りにつなげていきます。

もっと暮らしやすい栃木県になるように、いっしょに考えよう！

2. 第2回アンケート期間

令和7年8月25日（月曜日）から9月17日（水曜日）

3. アンケート方法

アンケート対象者にメールで回答URLを送付、WEBサイトを通じてアンケートに回答。

4. モニター数

301名

5. 第2回アンケート回答者数

275名

6. 第2回アンケート回答率

91.4%

※ 「その他」の自由記述回答については、こども家庭庁「こども・若者の意見の政策反映に向けたガイドライン」に基づき、こども・若者にとって読みやすく伝わりやすいものとするため、内容を整理して掲載しています。

性別	アンケート 対象者	回答人数	構成比	回答率
男性	34	28	10.2%	82.4%
女性	266	246	89.5%	92.5%
その他	1	1	0.4%	100.0%
合計	301	275	-	91.4%

年齢	アンケート 対象者	回答人数	構成比	回答率
10代	0	0	0.0%	0.0%
20代	5	4	1.5%	80.0%
30代	116	106	38.5%	91.4%
40代	139	127	46.2%	91.4%
50代	40	38	13.8%	95.0%
60代	0	0	0.0%	0.0%
70代以上	1	0	0.0%	0.0%
合計	301	275	-	91.4%

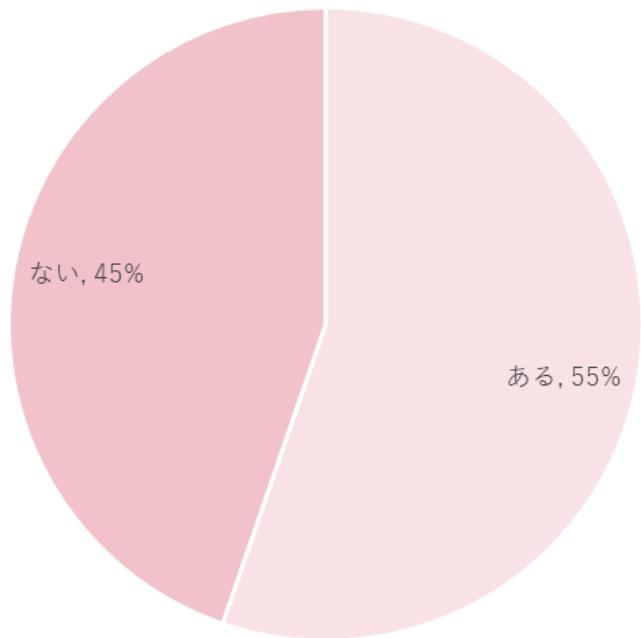
※ 集計結果は百分率(%)で示し、小数点以下第2位を四捨五入して算出したものになります。そのため、合計が100.0%にならないものがあります。

※ 各アンケート結果の数値は、見やすさを重視し割合は小数点以下を四捨五入して整数で表示しています。

テーマ 1

環境に関する意識について

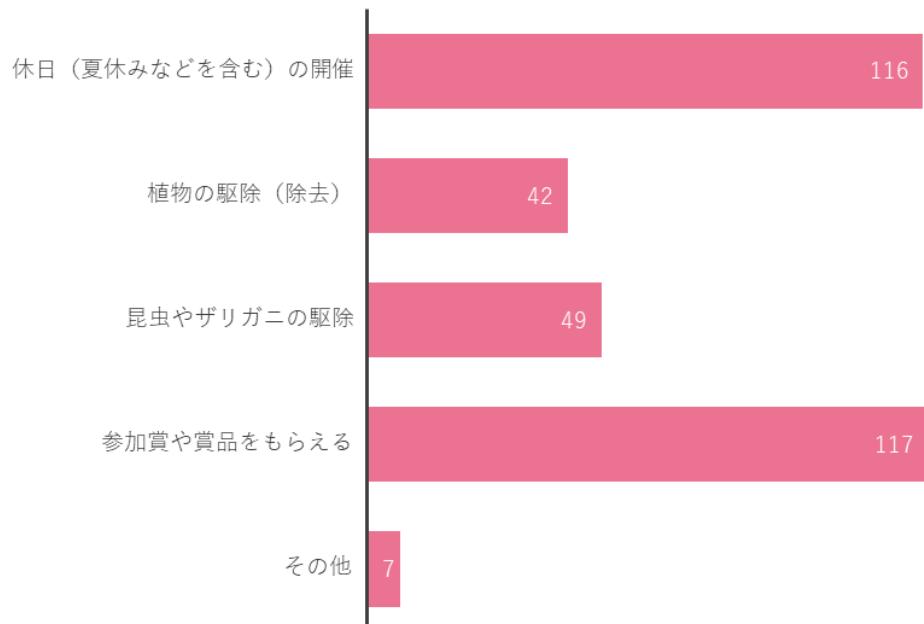
Q1.県内では外来生物による様々な被害が発生しており、県では県民の皆さんと協力しながら駆除活動を実施しています。このような外来生物の駆除活動に興味はありますか。



【調査結果の概要】

「興味がある」(55%)が「興味がない」(45%)を上回る結果となった。

Q1-1. 「Q1」で「駆除活動に興味がある」と答えた方に質問します。どんな駆除活動になら参加してみたいですか。【いくつでも選んでください】



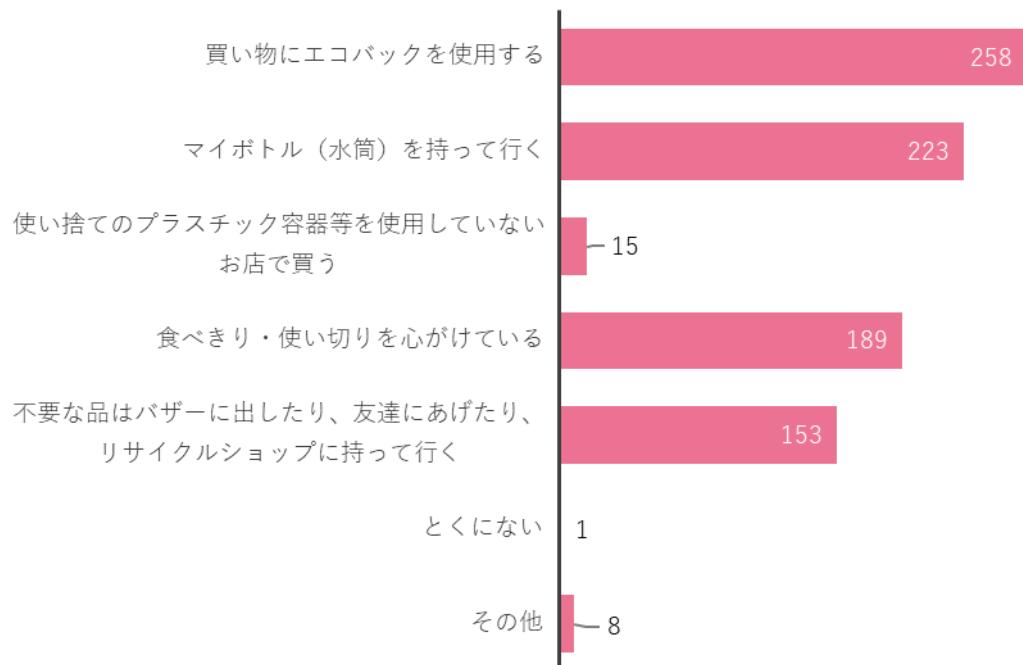
【調査結果の概要】

駆除活動への参加について「参加賞や賞品をもらえる」（117件）が最多く、以下「休日（夏休みなどを含む）の開催」（116件）、「昆虫やザリガニの駆除」（49件）と続いている。

【その他の自由記述】

- 実際に駆除に参加するのは腰が重いけど、どんなものがあって影響を与えているのかは簡単に学んでみたい。
- 昼食にお弁当をいただける
- 飼うのはいいけど、駆除は嫌
- しばらくはこどもを連れてしか参加できないので、こどもが楽しめるイベントになっていると嬉しい。に外来生物がもたらす被害についてレクチャーしてくれたり、ザリガニなどこどもが楽しんで捕まえられるようになってるもの。
- 虫などが苦手で難しい
- 駆除と一緒に外来種の説明があると身近なところでも駆除ができると思う。
- 子供が参加できて、保育園や学校で発表できる機会が得られる。要録やキャリアパスポートなど記録に残る活動として認められる。

Q2.ごみ削減に向けて、あなたがしている取組(してみたい取組)は何ですか。【いくつでも選んでください】



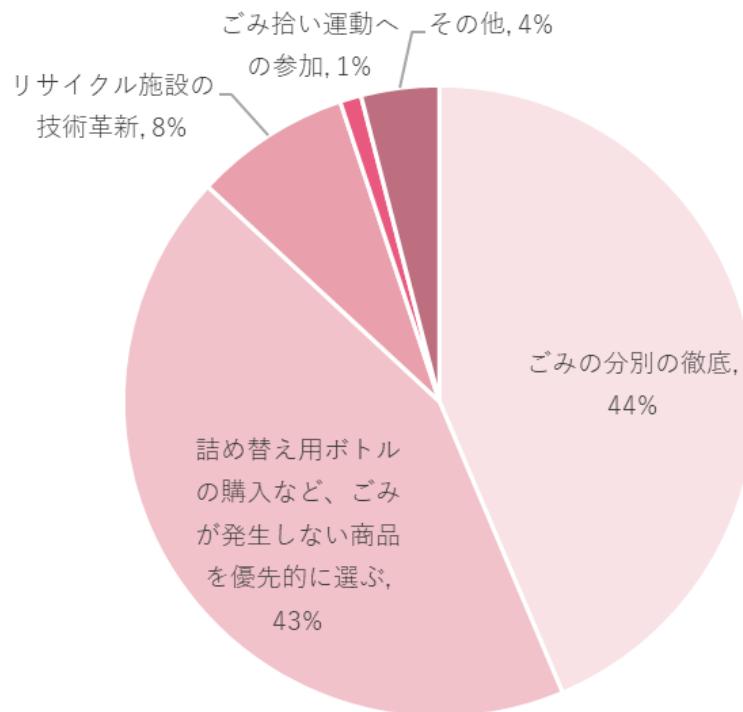
【調査結果の概要】

「買い物にエコバックを使用する」（258 件）が最も多く、以下「マイボトル（水筒）を持っていく」（223 件）、「食べきり・使い切りを心がけている」（189 件）と続いている。

【その他の自由記述】

- ゴミをできるだけ細かくしてカサを減らしている
- リサイクル、分別の細分化と楽しくできるようにポイント還元
- 購入検討時に、本当に必要な物か？と考え、必要以上の買い物をしないように考える
- 賞味期限間近の値引き商品を購入する
- フリマに出品する
- コンポストや家庭菜園の実施

Q3.ごみ削減に向けて、あなたが特に重要と考える取組は何ですか。



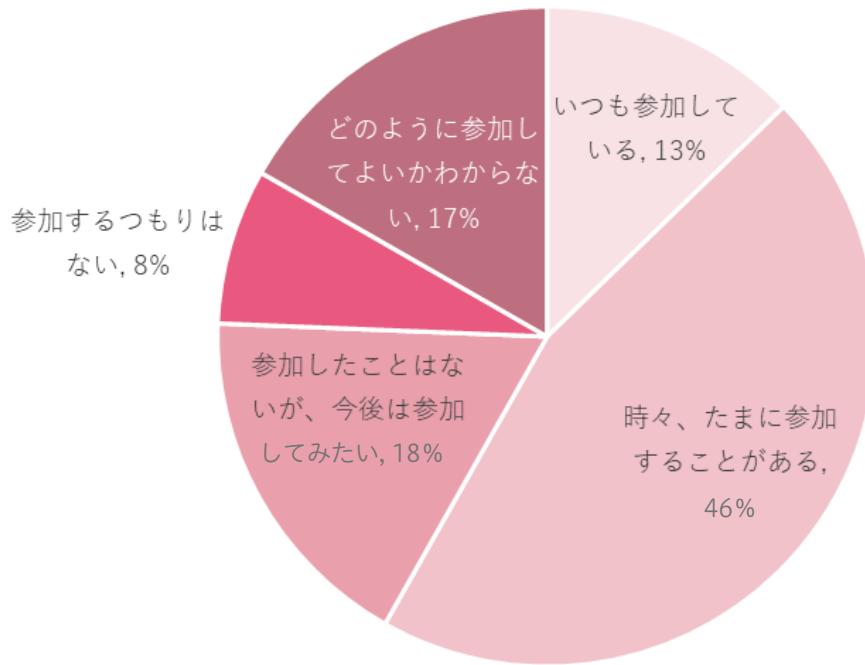
【調査結果の概要】

「ごみの分別の徹底」（44%）が最も多く、以下「詰め替え用のボトルの購入など、ごみが発生しない商品を優先的に選ぶ」（43%）、「リサイクル施設の技術革新」（8%）と続いている。

【その他の自由記述】

- ・ フードロス削減
- ・ 可燃か不燃かわからないものなど、どのように分別したら良いかわからない商品を作らないルール作り
- ・ 必要なものを必要なだけ買い使い切る。不用品はリサイクルショップやメルカリなどでリユースに回す。
- ・ 不要なものは買わない、すぐに捨てるものは買わない。世界全体で産業を少し低下させることが必要、物が溢れ過ぎている
- ・ 簡易包装
- ・ なぜごみ削減が必要なのか、そのために一人ひとりが何をすべきかの意識づくり。
- ・ 結局、会社や学校では、家庭とおなじ分別ではないこと。家庭できちんとやっても地域や学校ではやっていない事もすごく多い。そもそも分別が本当に社会にとって有用である事実を知りたい。
- ・ 余計なものを購入しない、あるもので何かできないか考える。

Q4.あなたは地域の清掃や環境美化活動に参加していますか。



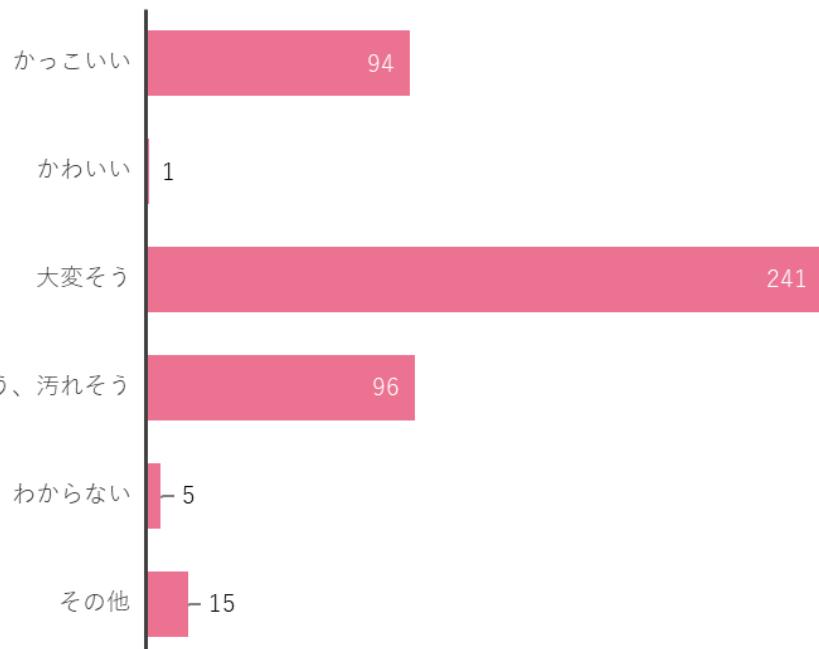
【調査結果の概要】

「時々、たまに参加することがある」（46%）が最も多く、以下「参加したことはないが、今後は参加してみたい」（18%）、「どのように参加してよいかわからない」（17%）と続いている。

テーマ 2

栃木の産業や製造業の仕事について

Q5.地元の建設業（道路や河川の整備、家やビルの建築、など）や、そこで働く人の姿にどんなイメージを持っていますか。【いくつでも選んでください】



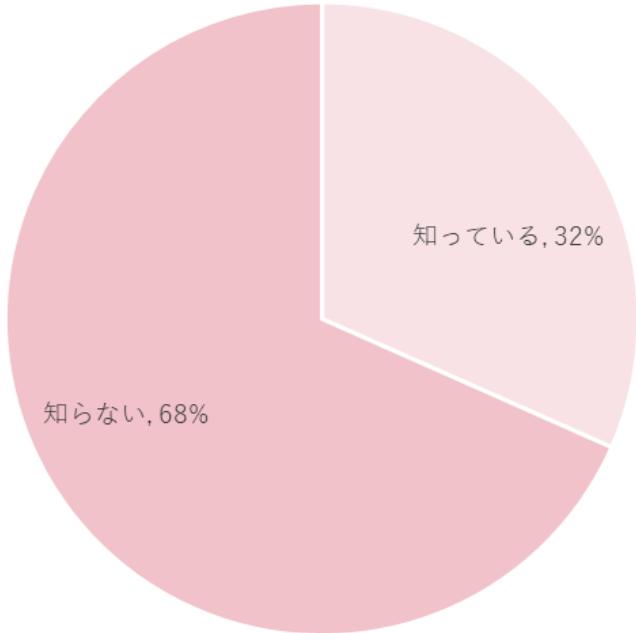
【調査結果の概要】

「大変そう」（241件）が最も多く、以下「危なそう、汚れそう」（96件）、「かっこいい」（94件）と続いている。

【その他の自由記述】

- ・ 良くないイメージを持っている人が多い気がするが、人々の生活を支える重要な仕事。もっと尊敬されるべき仕事だと思う。
- ・ 社会にとって必要な仕事
- ・ 最近の気候で暑い日や寒い日があって大変そう など 2件
- ・ 過酷な暑さのなか、外に出るだけで辛いのに、その中でとても立派だと思います。
- ・ 重労働・専門的な知識を持っていそう
- ・ 頑張ってる
- ・ たくさんの技術が必要そう（資格を含め）

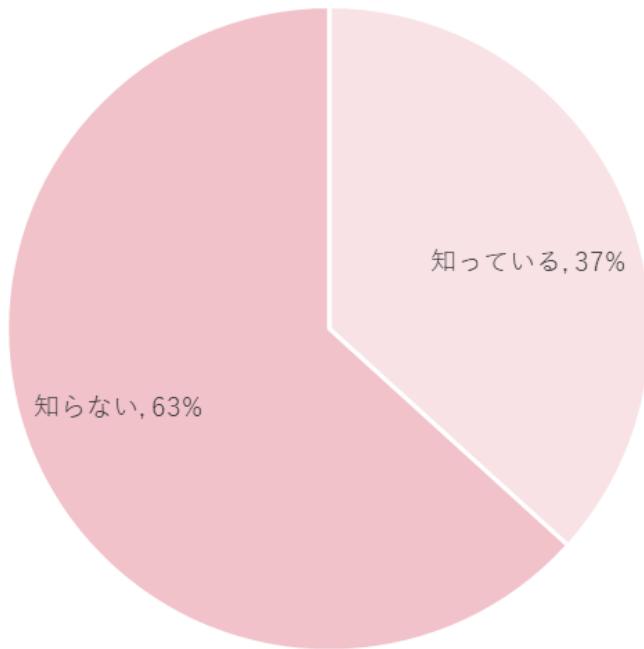
Q6.現在、地元の建設業では、週休2日がふつうになっていたり、デジタル技術で測量、設計や施工に取り組んでいるのを知っていますか。



【調査結果の概要】

「知らない」（68%）が、「知っている」（32%）を大きく上回る結果となった。

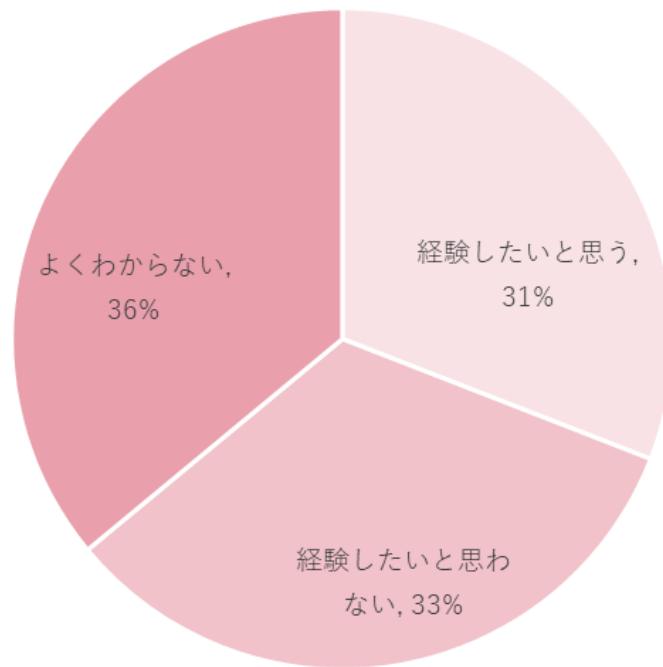
Q7.平成 27 年の台風や、令和元年の豪雨の際、初期の復旧に地元の建設業が大活躍したのを知っていますか。



【調査結果の概要】

「知らない」（63%）が、「知っている」（37%）を大きく上回る結果となった。

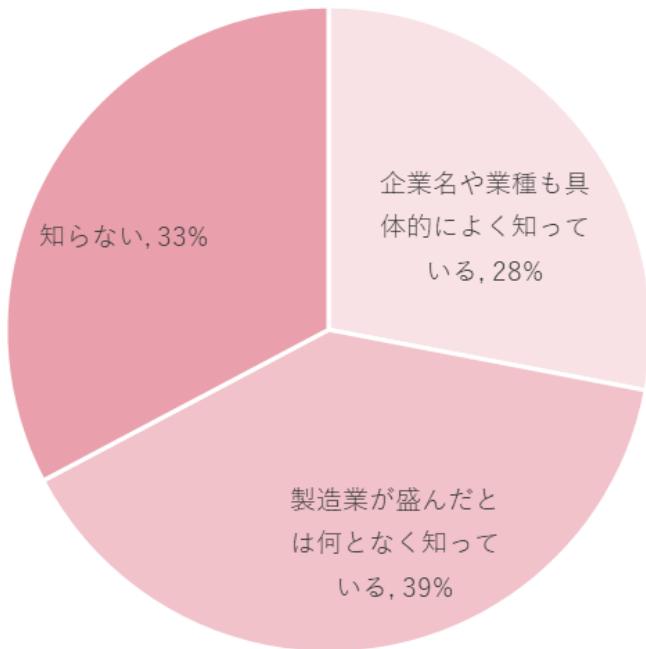
Q8.建設業は壮大なものづくりです。「地図に残る仕事」をやり遂げる経験をしたいと思いませんか。



【調査結果の概要】

「よくわからない」（36%）が最も多く、以下「経験したいと思わない」（33%）、「経験したいと思う」（31%）と続いている。

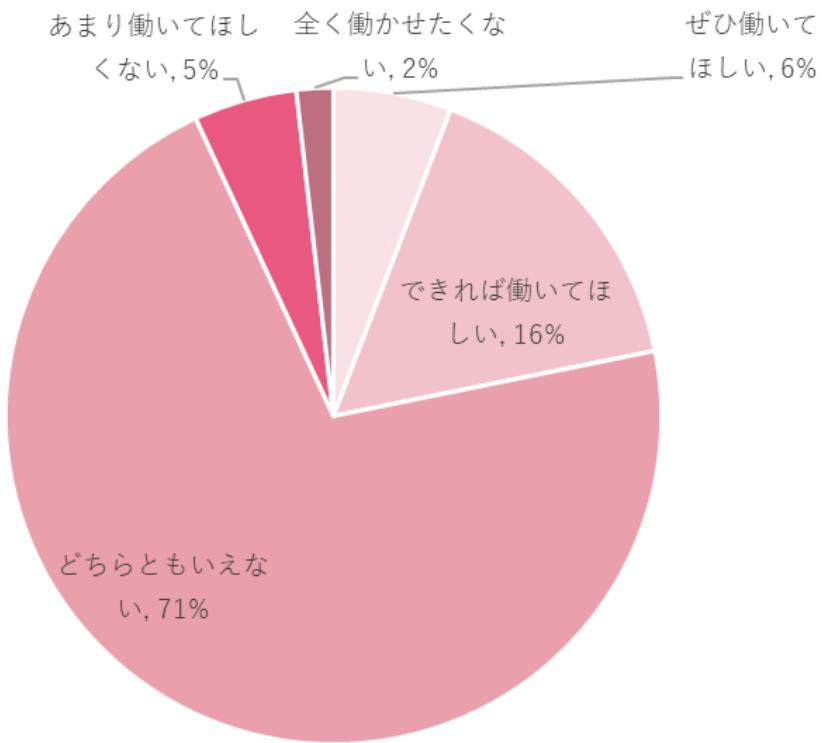
Q9.栃木県が自動車や航空宇宙、医療福祉機器などで、著名な企業や高い技術力をもつ企業の工場が立地するなど、製造業が盛んな県であることを知っていますか。



【調査結果の概要】

「製造業が盛んだとは何となく知っている」（39%）が最も多く、以下「知らない」（33%）、「企業名や業種も具体的によく知っている」（28%）と続いている。

Q10.子どもに将来、栃木県内の製造業(開発・設計含む)で働いてほしいと思いますか。



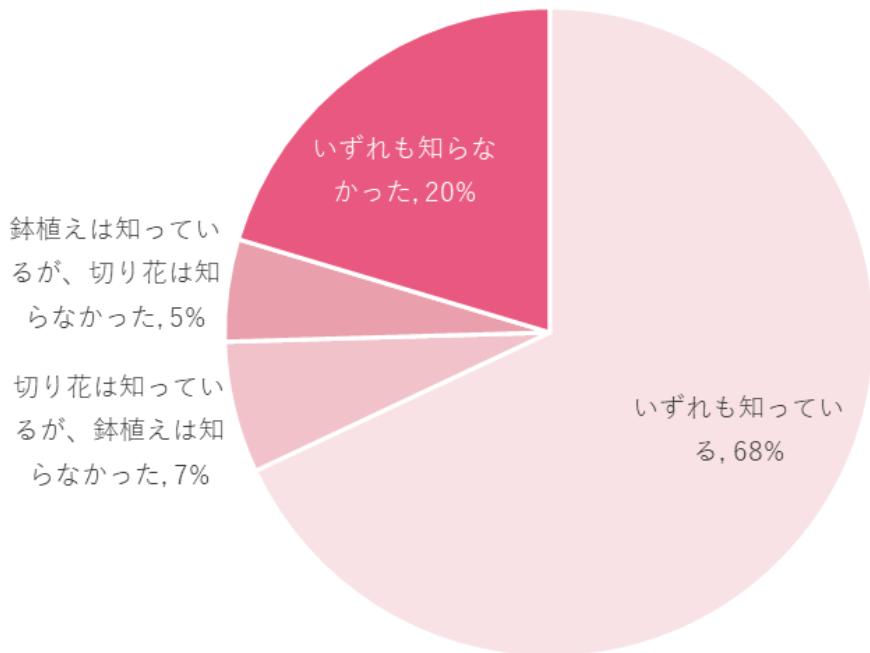
【調査結果の概要】

「どちらともいえない」（71%）が最も多く、以下「できれば働いてほしい」（16%）、「ぜひ働いてほしい」（6%）と続いている。

テーマ 3

「花」の購入について

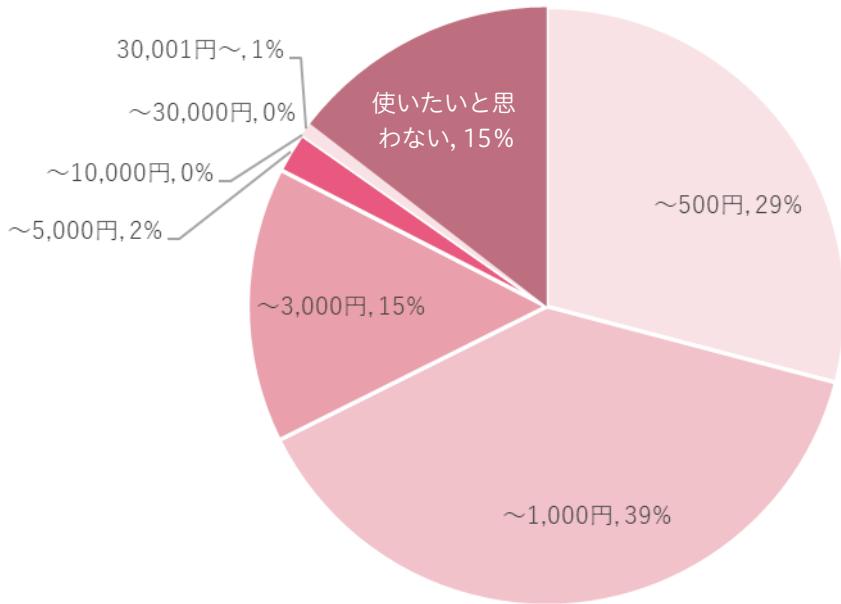
Q11.切り花は100円程度から、鉢植えは1,000円程度から購入できることを知っていますか。



【調査結果の概要】

「いざれも知っている」（68%）が最も多く、以下「いざれも知らなかった」（20%）、「切り花は知っているが、鉢植えは知らなかった」（7%）と続いている。

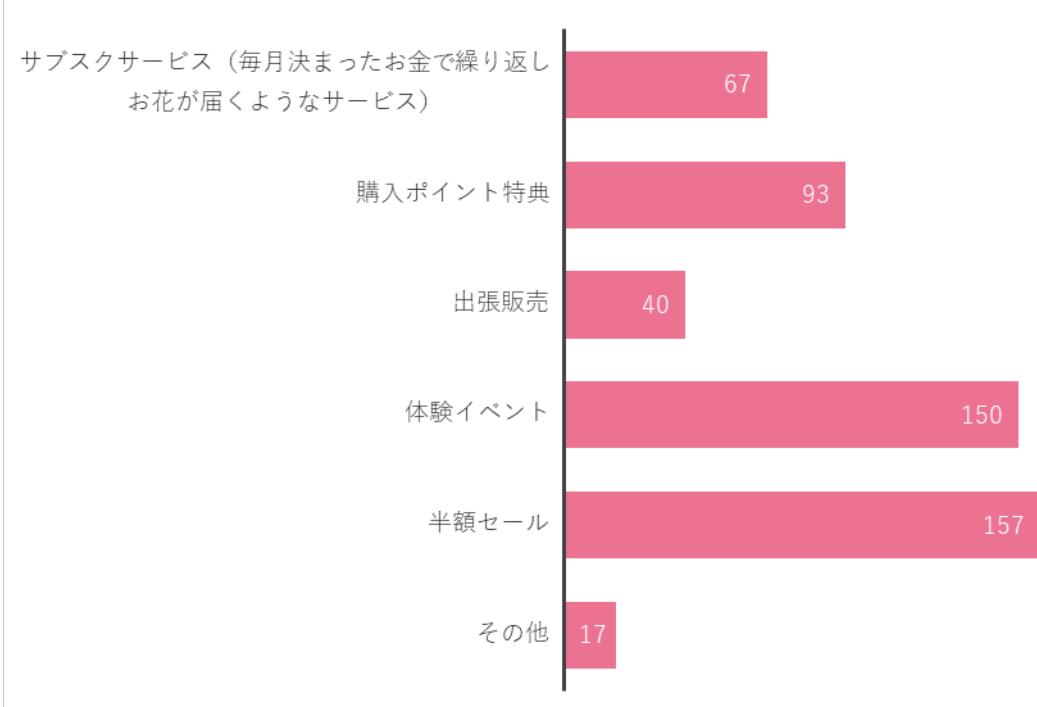
Q12.自分やご自宅用に花を購入する場合、月にいくらまでなら使ってもいいと思いますか。上記の金額を参考に購入頻度や個数を想定してみてください。



【調査結果の概要】

「～1,000円」（39%）が最も多く、以下「～500円」（29%）、「～3,000円」（15%）と続いている。

Q13.次のサービスのうち、自分やご自宅用に花を購入するきっかけになると思うものを選んでください。【いくつでも選んでください】



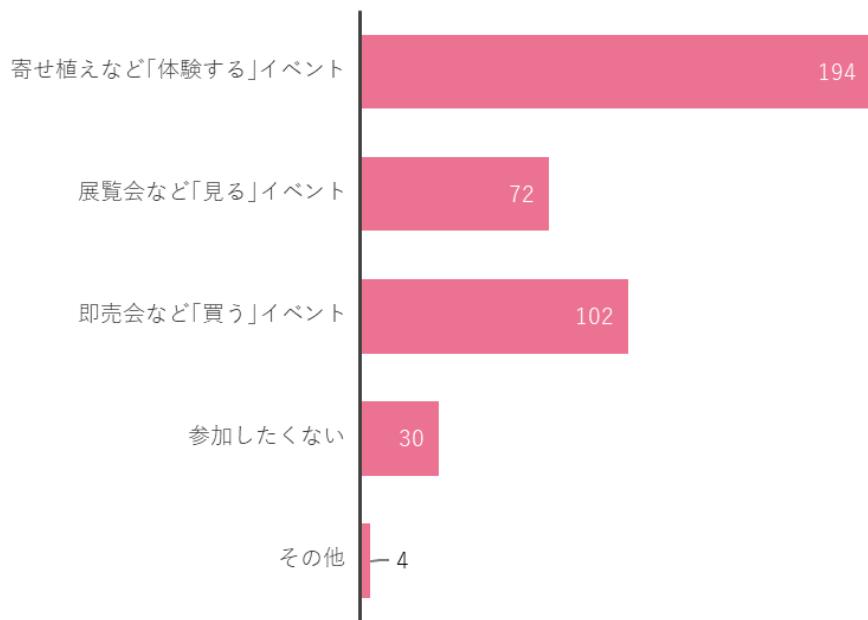
【調査結果の概要】

「半額セール」（157件）が最も多く、以下「体験イベント」（150件）、「購入ポイント特典」（93件）と続いている。

【その他の自由記述】

- ・ 花の値段云々より、花を愛する、世話をする余裕ができれば買いたいに行くと思います
- ・ まずは花の魅力や効果などをよく知ってもらうことが必要ではないか
- ・ 購入後のお世話や飾る場所などのことを考えると、購入する気になれない。
- ・ お手入れが大変だし、そこまで花が好きではないので自分のためになら買いたいとは思わない
- ・ 子供が育てたいと言って買うとき
- ・ 好きな花があるとき
- ・ 自分で見ていいと思ったときに購入したい
- ・ 部屋のインテリア相談や自分の性格にあった（世話がしやすい等）のものを選んでくれる
- ・ 売り場のポップ内容（例 育てやすいなど書かれているものなど）
- ・ 好きな花を1輪ずつ買いたい。プラスチック包装が気になる。サブスクは便利だけど、結局花の値段に加えられた費用（プラスチック資材や輸送コストやサービス、運営コスト）がきになる。

Q14.次のような花に関するイベントのうち、あなたが参加したいと思うものを選んでください。【いくつでも選んでください】



【調査結果の概要】

「寄せ植えなど『体験する』イベント」（194件）が最も多く、以下「即売会など『買う』イベント」（102件）、「展覧会など『見る』イベント」（72件）と続いている。

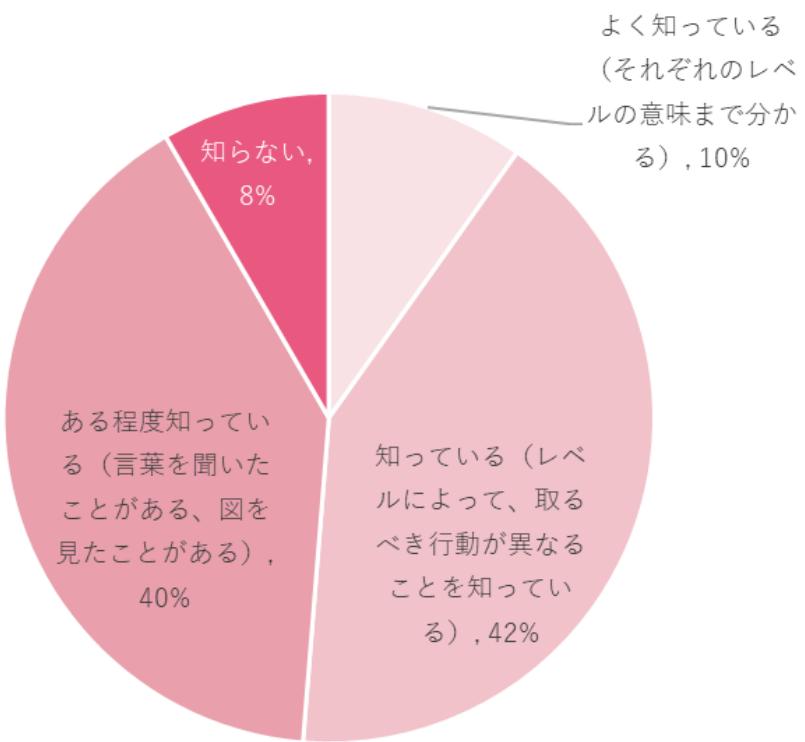
【その他の自由記述】

- ・ 無料で花がもらえるイベント
- ・ 子供が喜ぶイベント
- ・ 生産者さんから直接、少量を買えるイベント。生産者さんの利益がある、想いを買える。過剰な包装やコストがなくて、必要な分だけ。

テーマ 4

防災意識について

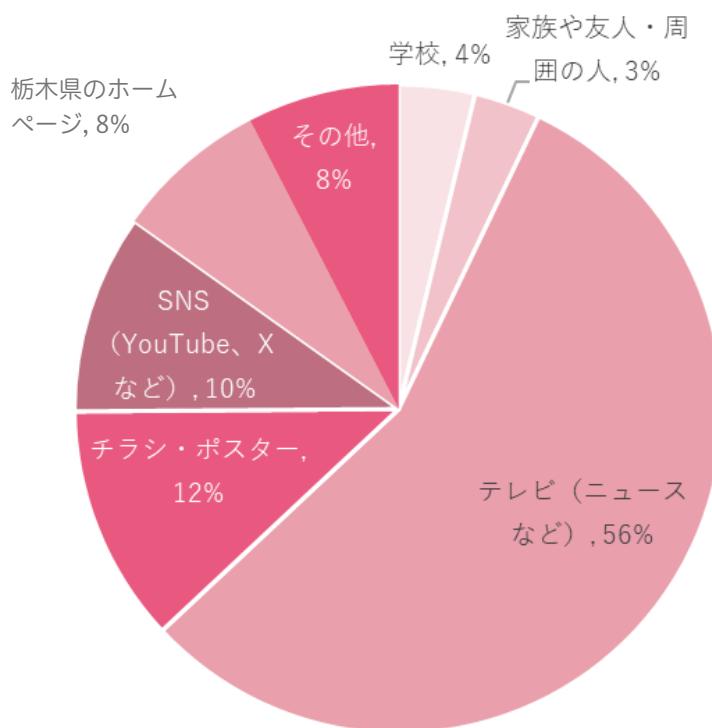
Q15.あなたは、大雨や土砂災害において危険な場所から避難するタイミングの目安である「5段階の警戒レベル」を知っていますか。



【調査結果の概要】

「知っている(レベルによって、取るべき行動が異なることを知っている)」(42%)が最も多い、以下「ある程度知っている(言葉を聞いたことがある、図を見たことがある)」(40%)、「よく知っている(それぞれのレベルの意味まで分かる)」(10%)と続いている。

Q16. 「Q15」で「知っている、聞いたり見たことがある」と答えた方に質問します。「5段階の警戒レベル」を何を通して知りましたか。



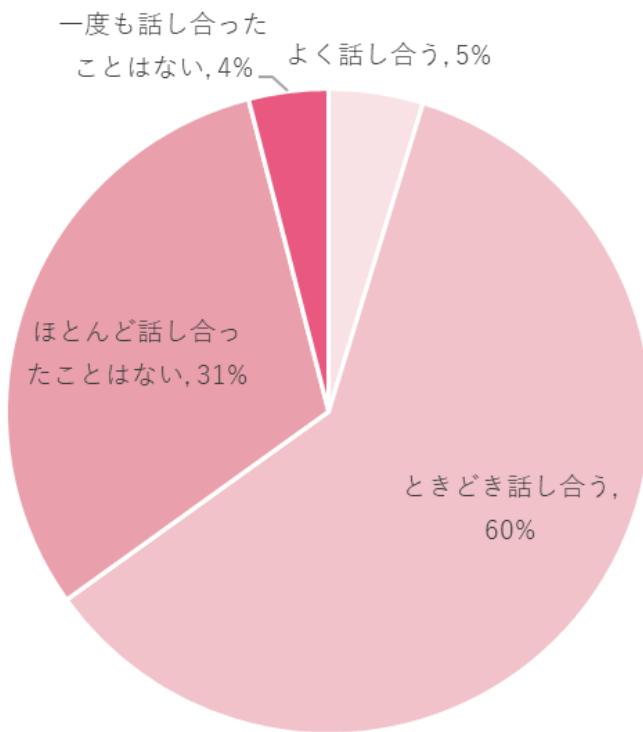
【調査結果の概要】

「テレビ（ニュースなど）」（56%）が最も多く、以下「チラシ・ポスター」（12%）、「SNS(YouTube、Xなど)」（10%）と続いている。

【その他の自由記述】

- ・ 市の防災冊子や情報誌
- ・ 新聞
- ・ 県民だより
- ・ ハザードマップ
- ・ 災害アプリ
- ・ ネット
- ・ 職場の訓練等
- ・ 保育園のお迎え基準の説明書
- ・ 子どもが図書館から借りてきた本
- ・ 実際体験した

Q17.あなたは地震や大雨などの災害に対する備えについて、家族と話し合いますか。



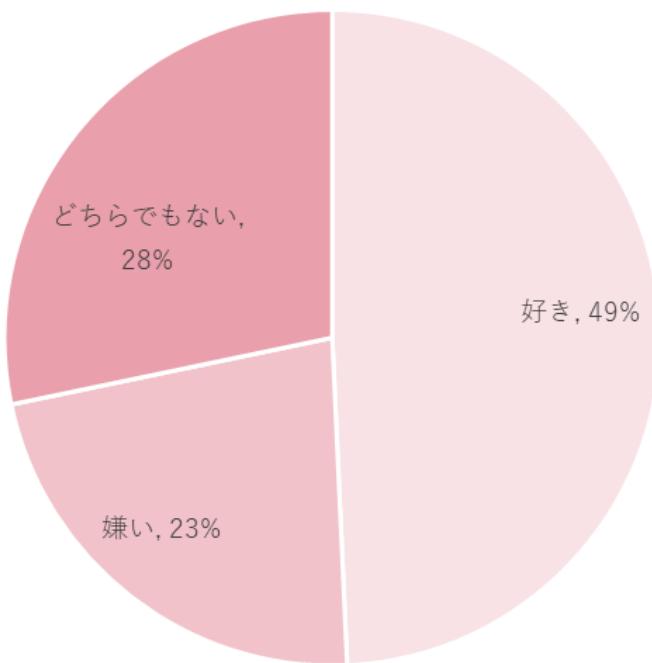
【調査結果の概要】

「ときどき話し合う」（60%）が最も多く、以下「ほとんど話し合ったことはない」（31%）、「よく話し合う」（5%）と続いている。

テーマ 5

運動をすることについて

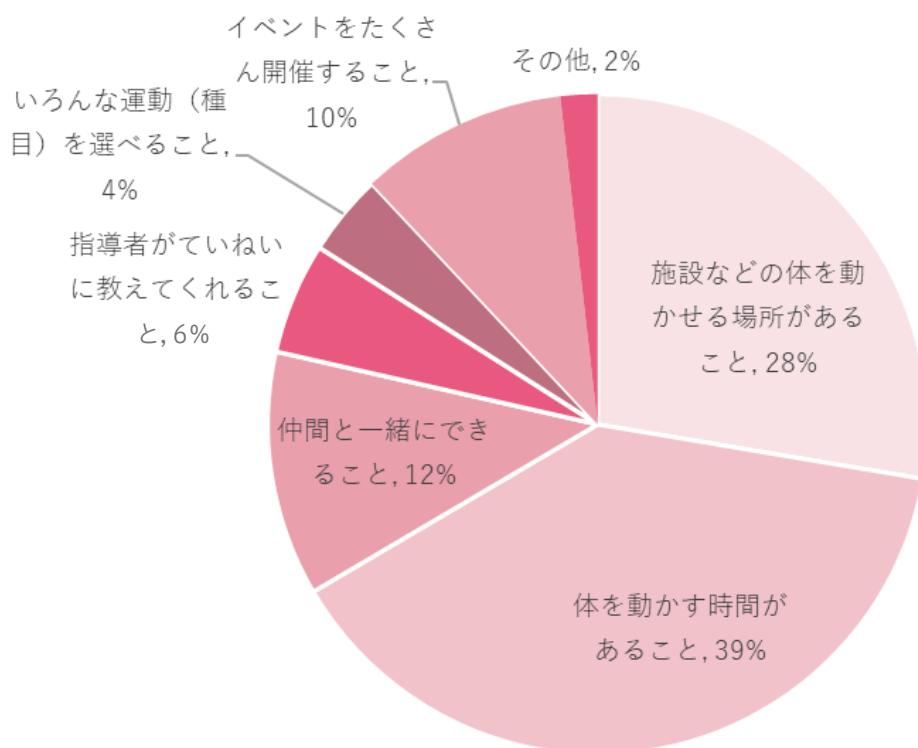
Q18.あなたは運動やスポーツなど、体を動かすことが好きですか。



【調査結果の概要】

「好き」（49%）が最も多く、以下「どちらでもない」（28%）、「嫌い」（23%）と続いている。

Q19.運動やスポーツなど、体を動かす活動をもっと楽しむために、どんなことが必要だと思いますか。



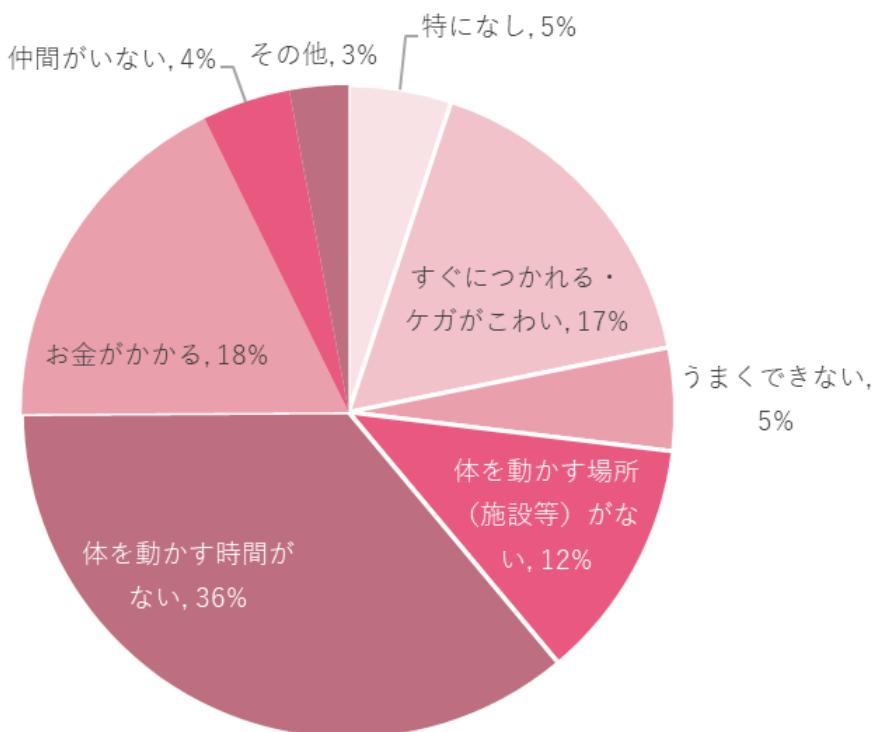
【調査結果の概要】

「体を動かす時間があること」（39%）が最も多く、以下「施設などの体を動かせる場所があること」（28%）、「仲間と一緒にできること」（12%）と続いている。

【その他の自由記述】

- ・ 運動が嫌い（良い思い出もない）為何も思い浮かばない
- ・ 小さい子供を預ける場所があること
- ・ 将来、自分の子供たちに「自分の介護などさせたくない」、その思いがあれば、運動やスポーツは楽しむためにやるのではなく、「やらなければならないこと」、という認識を持たせること
- ・ 自分1人の時間があること
- ・ やりたくない

Q20.運動やスポーツなど、体を動かす活動をする際に困っていることは何ですか。



【調査結果の概要】

「体を動かす時間がない」（36%）が最も多く、以下「お金がかかる」（18%）、「すぐにつかれる・ケガがこわい」（17%）と続いている。

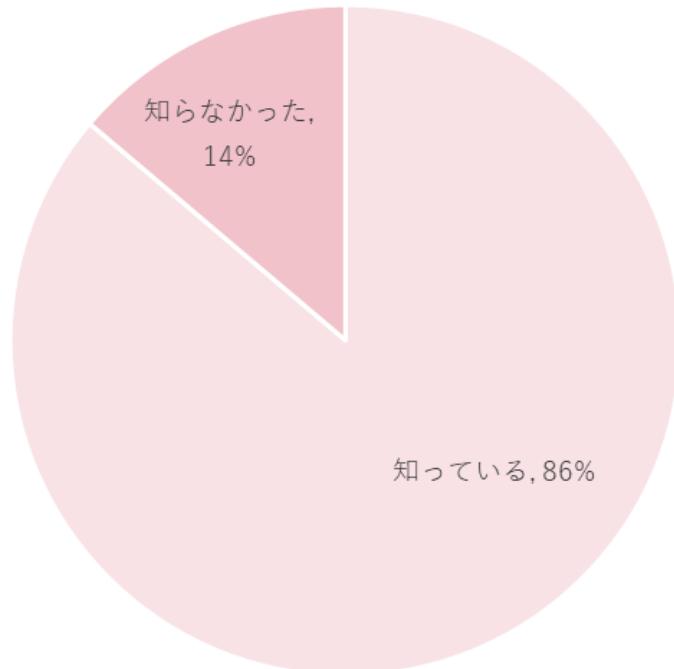
【その他の自由記述】

- 散歩に行くのにも子どもたちを連れて行かなければいけないから。特に夏は涼しい早朝か夜でないと散歩は難しいが、朝は子どもを起こして朝食を食べさせる間に暑くなる。夕方～夜は子どもが寝るのが遅くなるため連れ出したくない。
- 子供を預けられる知り合い・場所がない。
- 健康のために続けたいが、なかなか継続できない
- やる気
- 気温が高い日が多く、屋外でやることが難しい。屋内だと予約や料金が発生するので不便。
- きっかけがない。初心者で開始できるか不安、初心者向けイベントがあると良いきっかけになりそう

テーマ 6

自転車利用時の保険加入について

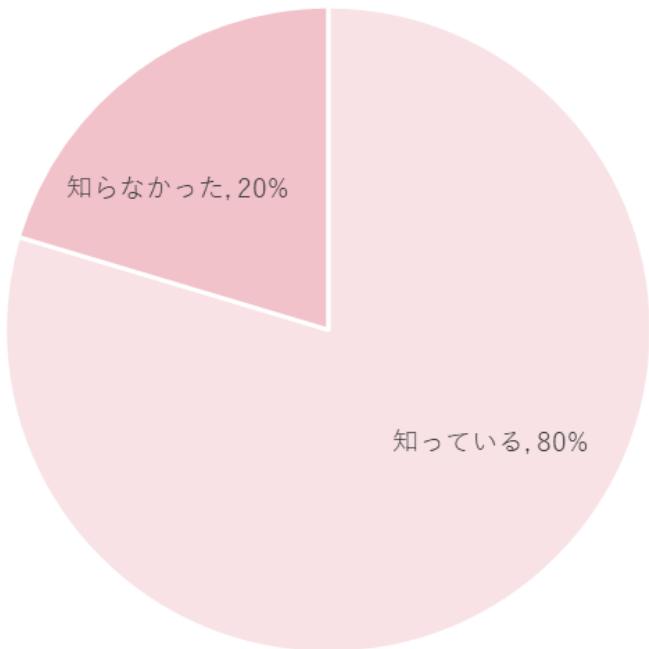
Q21.栃木県の条例の規定により、自転車を利用する人は、自転車損害賠償責任保険等への加入義務があることを知っていますか。※自転車損害賠償責任保険等とは、自転車の事故で相手にケガをさせてしまった場合の補償に関する保険や共済などのことです。



【調査結果の概要】

「知っている」（86%）が、「知らなかった」（14%）を大きく上回る結果となった。

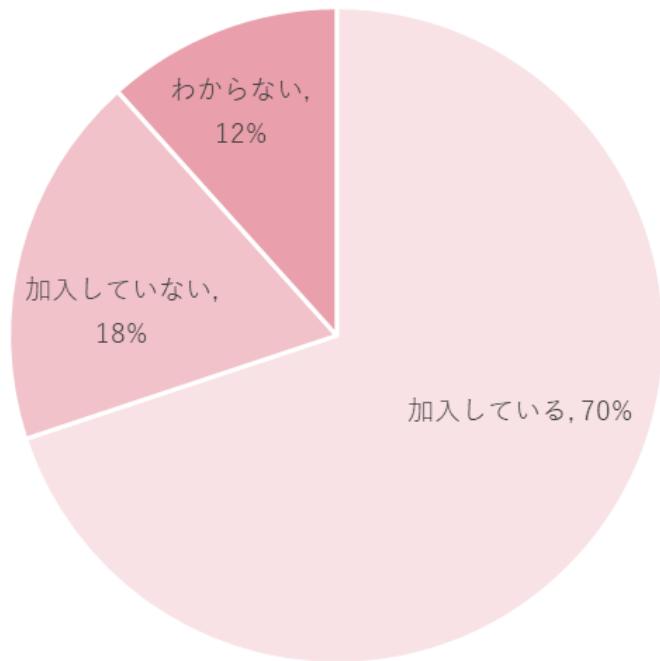
Q22.栃木県の条例により、保護者は、その監護する未成年者が自転車を利用するときは、自転車損害賠償責任保険等に加入しなければならないことを知っていますか。



【調査結果の概要】

「知っている」（80%）が、「知らなかった」（20%）を大きく上回る結果となった。

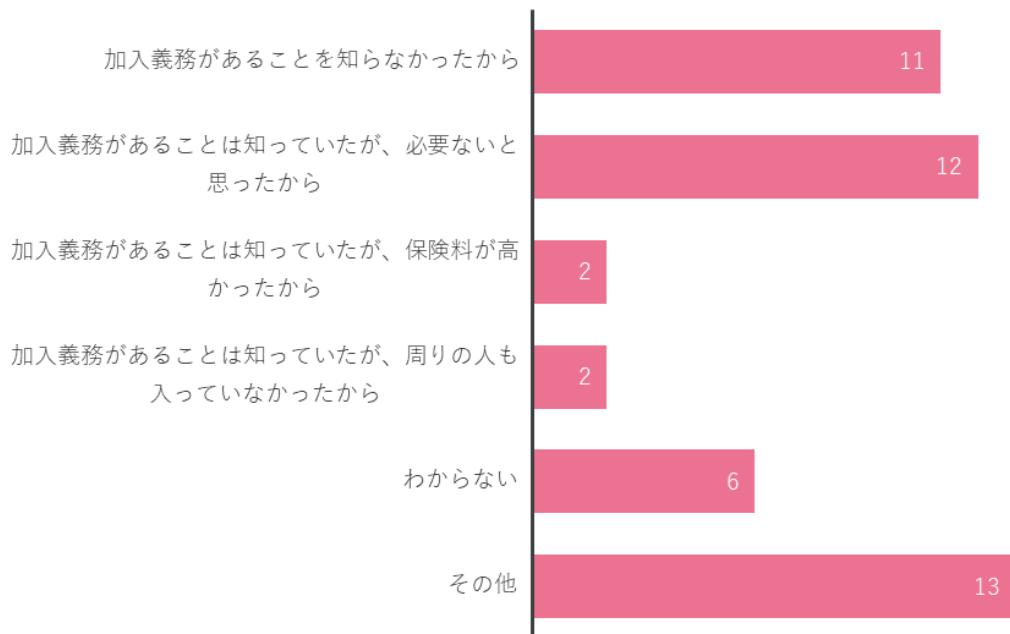
Q23.自転車を利用している方に質問です。あなたは、自転車損害賠償責任保険等に加入していますか。



【調査結果の概要】

「加入している」 (70%) が最も多く、以下「加入していない」 (18%) 、「わからない」 (12%)、と続いている。

Q24. 「Q23」で「加入していない」と回答した方にお聞きします。自転車損害賠償責任保険等に加入していない理由は何ですか。【いくつでも選んでください】



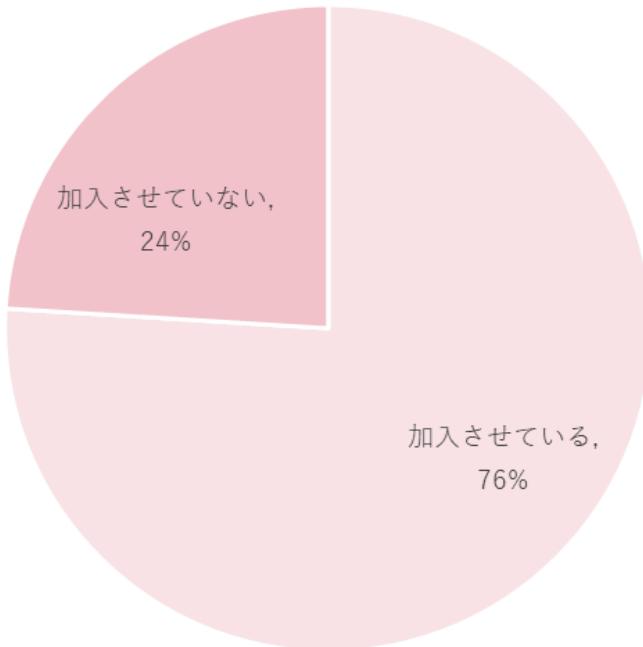
【調査結果の概要】

「その他」（13件）が最も多く、以下「加入義務があることは知っていたが、必要ないとと思ったから」（12件）、「加入義務があることを知らなかったから」（11件）と続いている。

【その他の自由記述】

- ・ 自転車に乗らない
- ・ 自転車を持っていない
- ・ たまにしか乗らないから
- ・ どの保険がよいのかわからない

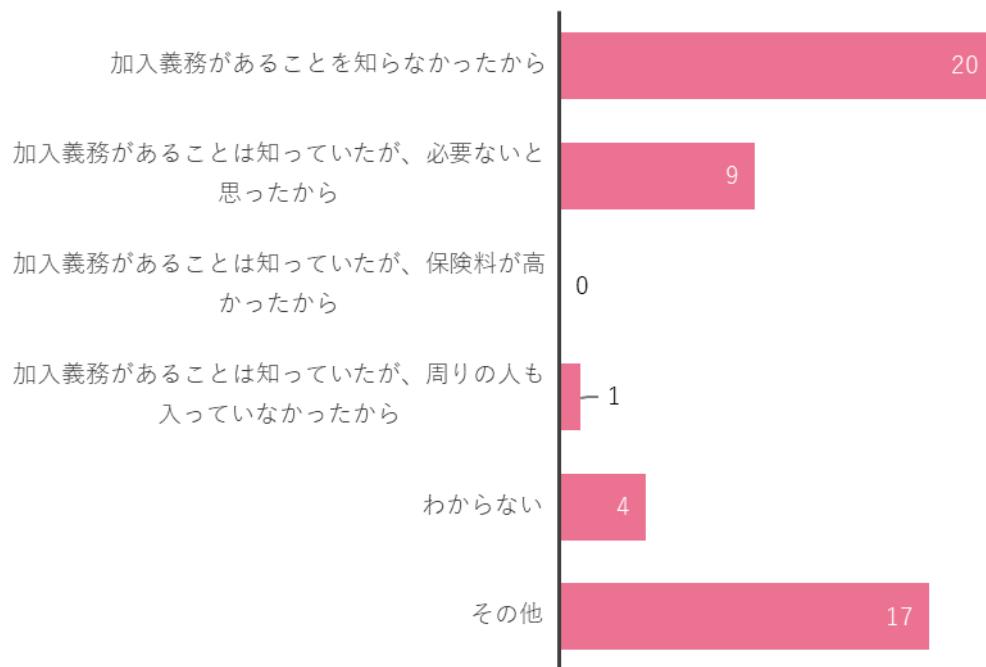
Q25.お子さんが自転車を利用している方に質問です。お子さんを自転車損害賠償責任保険等に加入していますか。



【調査結果の概要】

「加入させている」 (76%) が「加入させていない」 (24%) を大きく上回る結果となった。

Q26. 「Q25」で「加入させていない」と回答した方にお聞きします。お子さんを自転車損害賠償責任保険等に加入させていない理由は何ですか。【いくつでも選んでください】



【調査結果の概要】

「加入義務があることを知らなかったから」（20件）が最も多く、以下「その他」（17件）、「加入義務があることは知っていたが、必要ないとと思ったから」（9件）と続いている。

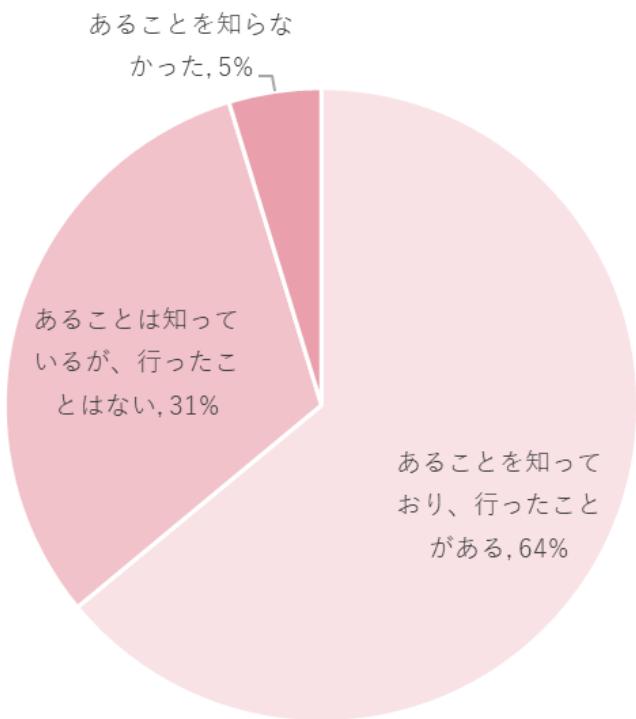
【その他の自由記述】

- ・ 自転車に乗らないから。
- ・ まだ自転車に乗れないので乗れるようになったら加入します。
- ・ 自転車に乗れる年齢ではないため
- ・ 公道で乗らないから
- ・ まだ家の前で乗る程度のため
- ・ たまにしか乗らないから
- ・ 自転車を持っていない
- ・ 加入させていましたが期間が切れているような気がします。これを機に確認します。
- ・ どの保険がよいのかわからない

テーマ 7

博物館、美術館について

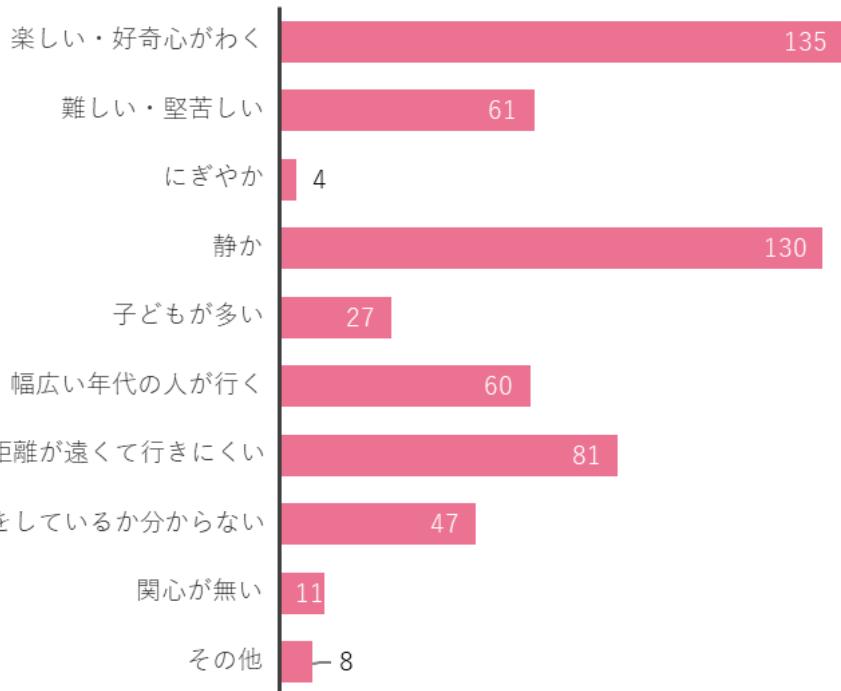
Q27.あなたは栃木県立博物館があることを知っていますか。また、行ったことはありますか。



【調査結果の概要】

「あることを知り、行ったことがある」(64%) が最も多く、以下「あることは知っているが、行ったことはない」(31%)、「あることを知らないかった」(5%) と続いている。

Q28.あなたは栃木県立博物館について、どのようなイメージがありますか。【いくつでも選んでください】



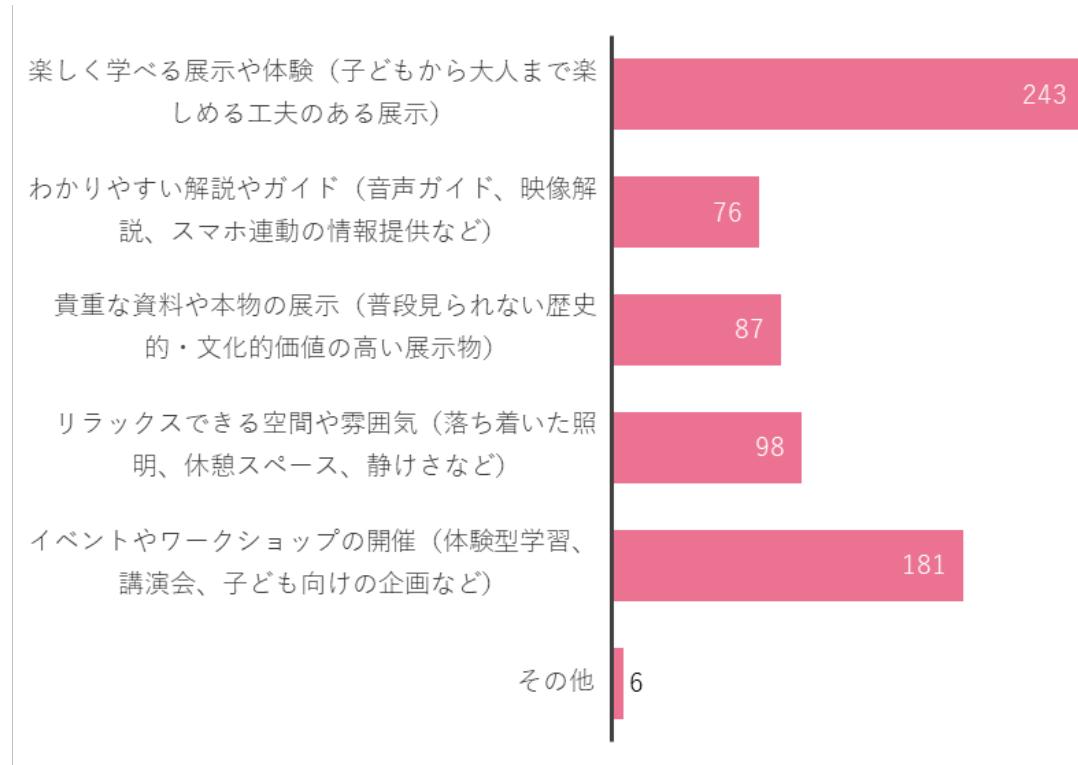
【調査結果の概要】

「楽しい・好奇心がわく」(135件)が最も多く、以下「静か」(130件)、「家からの距離が遠くて行きにくい」(81件)と続いている。

【その他の自由記述】

- 年数が経っていて、古い感じがする。
- 大部分の展示物が昔と変わらない。
- 印象がない。
- 憩いの場。
- 全体的な展示がずっと同じだし、説明文が多くてワクワクとはほど遠い。
- パッとしない。展示が興味をそそる感じがない。

Q29.栃木県立博物館にどのようなことを期待しますか。【いくつでも選んでください】



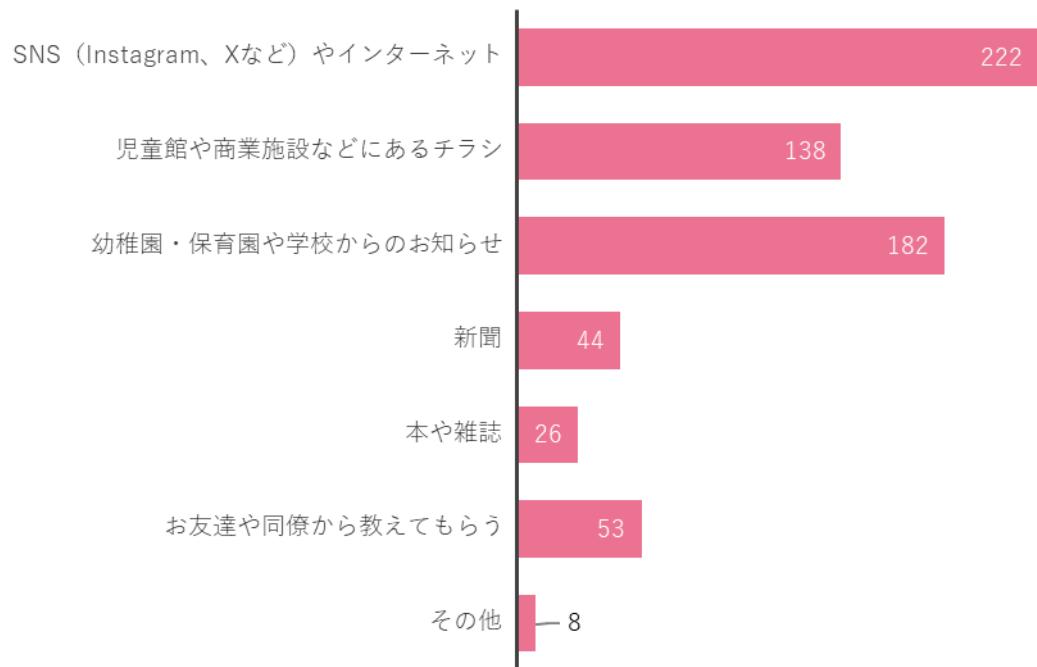
【調査結果の概要】

「楽しく学べる展示や体験（子どもから大人まで楽しめる工夫のある展示）」（243件）が最も多く、以下「イベントやワークショップの開催（体験型学習、講演会、子ども向けの企画など）」（181件）、「リラックスできる空間や雰囲気（落ち着いた照明、休憩スペース、静けさなど）」（98件）と続いている。

【その他の自由記述】

- ・ 広い駐車場。
- ・ 学生が自習できるスペースを作りたい。
- ・ 展示室が混みすぎないこと。
- ・ 真岡木綿やゆうき紬など、地域文化や産業についての展示や体験。
- ・ 茨城県自然博物館のように1日いても飽きずに体験や遊びができる工夫（食堂や遊び場の併設、ワクワクするような仕掛けなど）

Q30.お子さんと一緒に参加するイベント等の情報収集は何を通して行っていますか。【いくつでも選んでください】



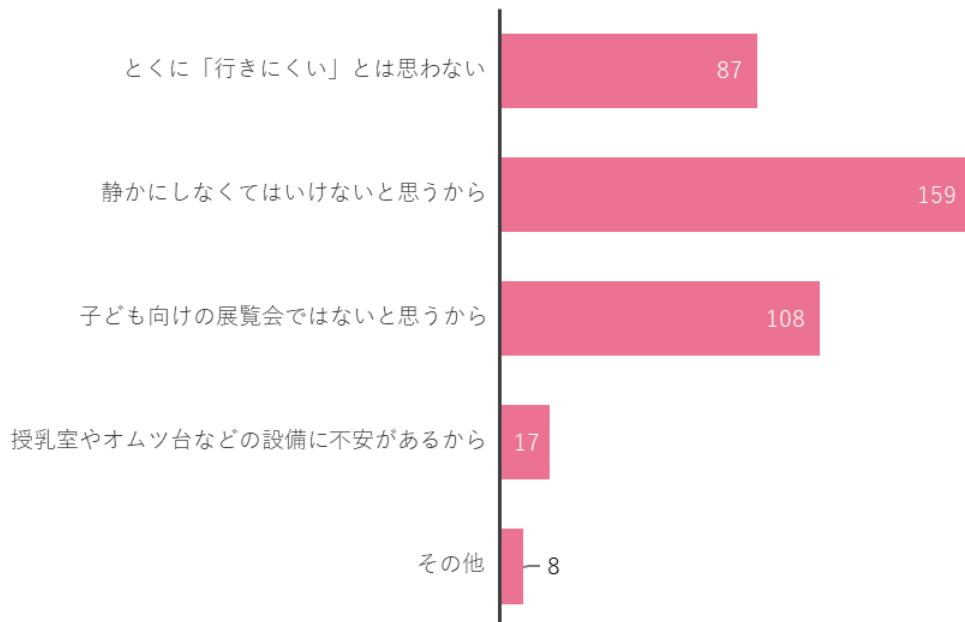
【調査結果の概要】

「SNS(Instagram、Xなど)やインターネット」(222件)が最も多く、以下「幼稚園・保育園や学校からのお知らせ」(182件)、「児童館や商業施設などにあるチラシ」(138件)と続いている。

【その他の自由記述】

- ・ 市の広報冊子
- ・ ラジオ
- ・ 学習センターにおいてあるチラシや広報誌
- ・ 地域情報紙

Q31.お子さんと一緒に美術館を訪れる時に「行きにくいな」と思うことはありますか。あれば、理由をおしえてください。【いくつでも選んでください】



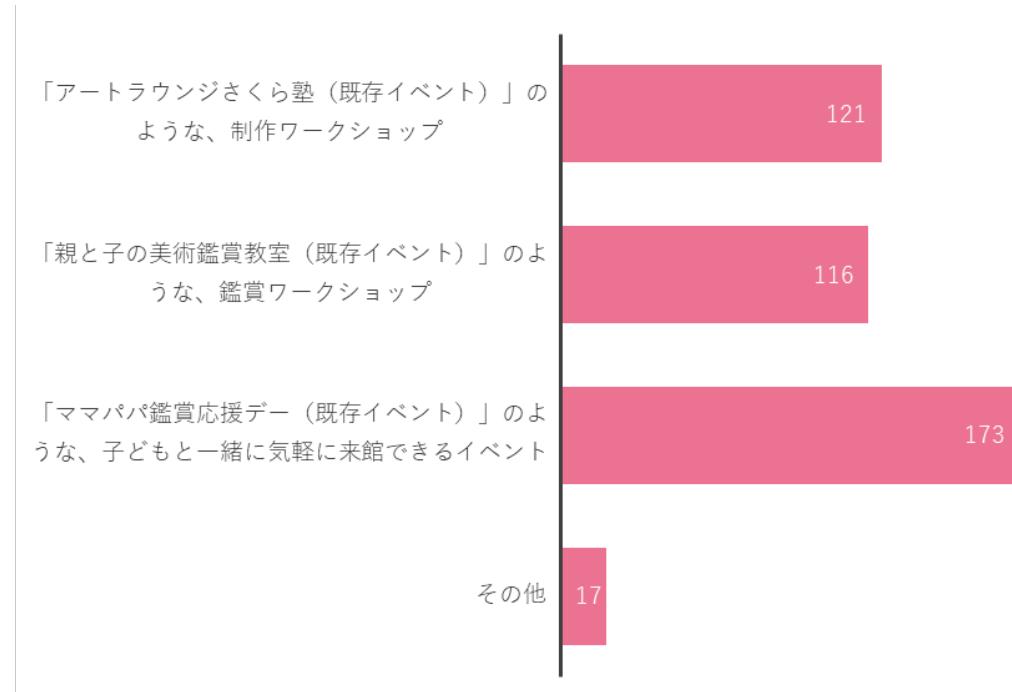
【調査結果の概要】

「静かにしなくてはいけないと思うから」(159件)が最も多く、以下「子ども向けの展覧会ではないと思うから」(108件)、「とくに『行きにくい』とは思わない」(87件)と続いている。

【その他の自由記述】

- ・ 駐車場が停めにくい、狭い立地。
- ・ 体験型イベントや、堅苦しくない雰囲気の醸成。今の学芸員の方たちは基本的に無愛想な方たちが多い。博物館ではないが佐野にある栃木花センターの方を見習ってほしい。花が好きなのが前面にでており、子どもたちもかなり興味を持ててよい施設でした。
- ・ 展示物を汚したり壊したりしてしまわないか不安
- ・ 駐車場が無いところだと行きにくい。
- ・ ない
- ・ 家から少し距離があるので気軽に行けない。
- ・ 子供がすぐ飽きてしまい、ゆっくり見れない。

Q32.栃木県立美術館では今年、「動くゴッホ展」や「絵本のひみつ展」など、子どもでも親しみやすい展示も多く開催します。今後、美術館で開催してほしいイベントや企画展などを教えてください。【いくつでも選んでください】



【調査結果の概要】

「『ママパパ鑑賞応援デー（既存イベント）』のような、子どもと一緒に気軽に来館できるイベント」(173件)が最も多く、以下「『アートラウンジさくら塾（既存イベント）』のような、制作ワークショップ」(121件)、「『親と子の美術鑑賞教室（既存イベント）』のような、鑑賞ワークショップ」(116件)と続いている。

【その他の自由記述】

- ・ 絵本、アニメ、マンガ等の企画展
- ・ モネなど有名な画家の作品展を勉強させたいです
- ・ 小さい子供連れで、少し子供が騒いでも寛容な時間帯を明示してもらいたら、安心して子供と鑑賞しやすい。
- ・ 託児。
- ・ 子どもが興味や親しみをもてる、絵本作家の作品（ぱんどろぼうやノラネコぐんだん）、ジブリ展やサンリオ展、さくらももこ作品展、ドラえもん展等大人と子どもが共通して好きなものを鑑賞したいです。
- ・ この夏、館林美術館の企画展では触れてもよい作品がたくさんあって、小さい子供を連れていくのにとても気が楽でした。子供も楽しかったようです。触れることにフォーカスした展示があったら、触れてもよい作品があったら楽しいだろうなあと感じます。
- ・ 絵本や絵本作家をテーマにした展覧会・音や色と触れあえる体験型のイベント
- ・ 子どもが無料で入れて、子ども一人につき大人も二人までなら割引等のサービスがあるといきやすい。あとは子どもが騒いでも大丈夫な日の設定等
- ・ 定員や申込み期限に間に合わなかったり、結局参加できない、が多い。家庭や保育園のクラスでもワークショップができるキットやアイディアの提供もしてほしい。